

SVM-06 と SVL-03-UVC の違い

Rev.1.1

概要

- 本書では、弊社SVシリーズのMIPI キャプチャーボードである、「SVM-06」と「SVL-03-UVC」のハードウェアとソフトウェアの違いについて説明します。
- SVL-03-UVC では、USB I/F が Type-B から Type-C に変わり、最大で 6Gbps の UVC 転送が可能となりました。ディスプレイ I/F も HDMI から DisplayPort に変更しています。
- 本資料の記載内容で不明点あれば、お気軽に営業までお問い合わせください。

SVL-03-UVC ご使用に当たって

SVL-03-UVC をご使用する場合、以下の更新が必要になります。

- デバイス・ドライバを更新

- SVL-03-UVC 用のデバイス・ドライバをインストールしてください。

- USB Type-B から Type-C に変更

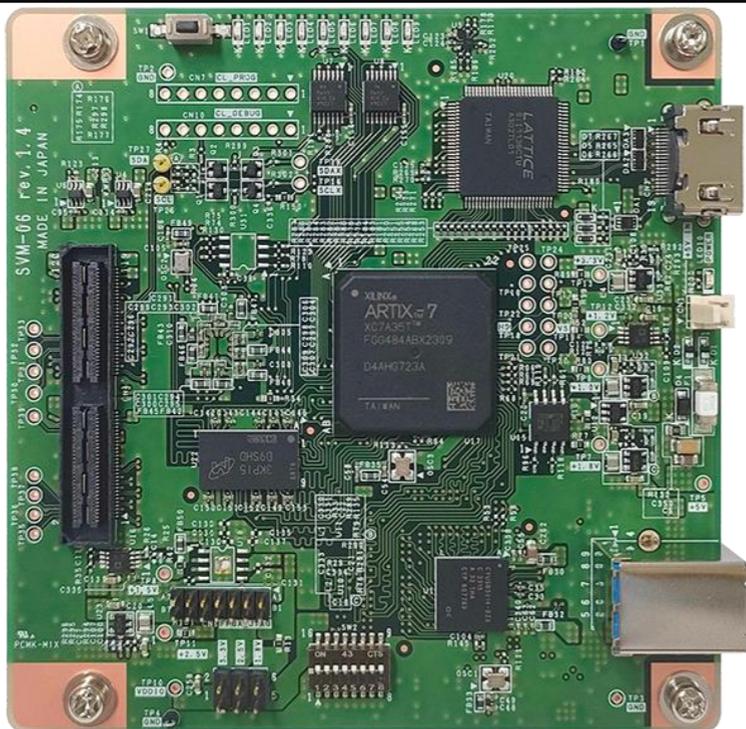
- USB 3.2 Gen2 Type-C 対応のコネクタを持つ PC と Type-C to Type-C ケーブルをご使用ください。

- アプリケーションの更新

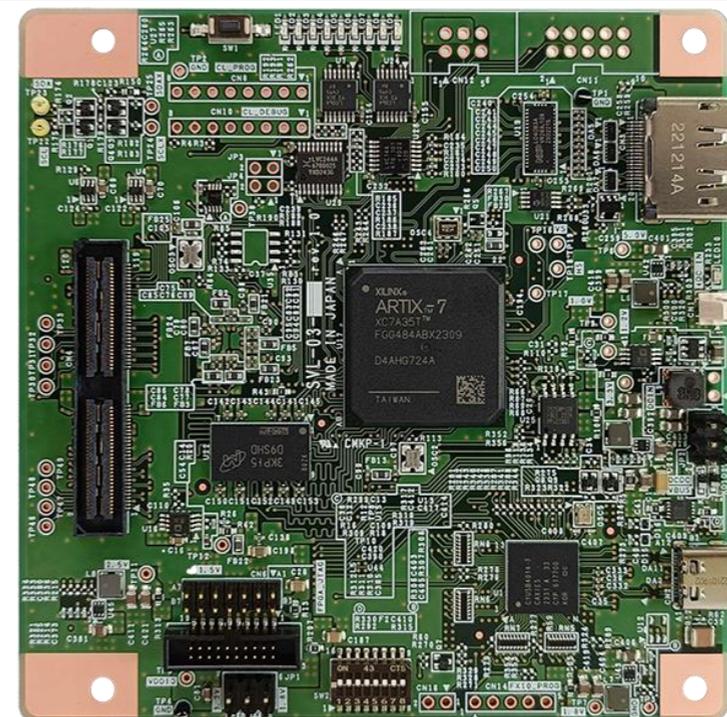
- 最新バージョンのソフトウェアをご使用ください。

ボード外観の比較

SVM-06 Rev.1.4

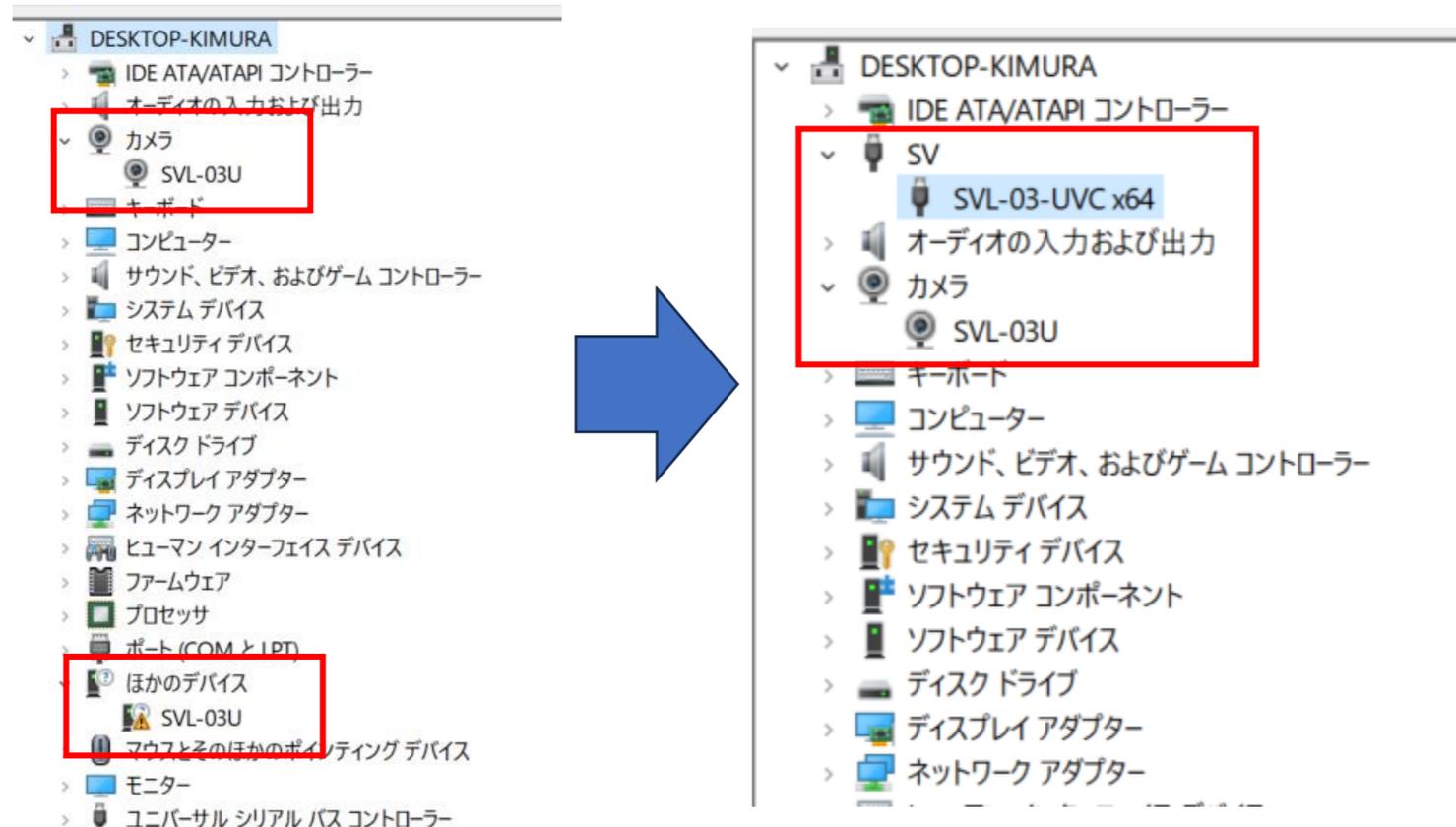


SVL-03-UVC Rev.1.0



- USB 接続のインタフェースを Type-B から Type-C へと変更しました。
- モニタ接続のインタフェースを HDMI から DisplayPort へと変更しました。
- CN4 (ターゲット接続コネクタ) は、SVM-06 とピンコンパチブルになります。

デバイス・ドライバの対応・インストール



SVL-03-UVC を始めてご使用する場合、デバイス・ドライバをインストールする必要があります。

初期接続時は「ほかのデバイス」として認識されますので、デバイス・マネージャからデバイス・ドライバをインストールしてください。インストール後、SV の項目で認識されるようになります。

インストール時に、カメラにSVL-03 が認識されない場合、ほかのデバイスとして認識されるまで、デバイス・ドライバをアンインストールしてください。その後、再度インストールの手順を行ってください。

UVC モードDIP SW 機能の説明

番号#	項目	OFF 時	ON 時
1	USB 3.2 Gen2 / Gen1 接続選択 (起動時)	Auto (Gen2 / Gen1 自動判定)	Gen1 固定接続
2	テストパターン出力	通常動作	テストパターン出力
3	入力レーン設定	#4=OFF, #3=OFF: 4 Lanes #4=OFF, #3=ON: 1 Lane #4=ON, #3=OFF: 2 Lanes #4=ON, #3=ON: 3 Lanes	
4	入力レーン設定		
5	Reserved		
6			
7	動作モード選択	7: ON, 8: ON -> (予約) 7: ON, 8: OFF -> アップデータモードで起動 7: OFF, 8: OFF -> (予約) 7: OFF, 8: ON -> UVC モードで起動	
8	(起動時)		

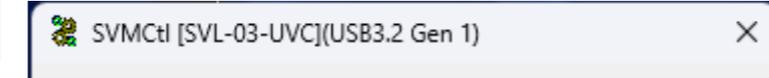
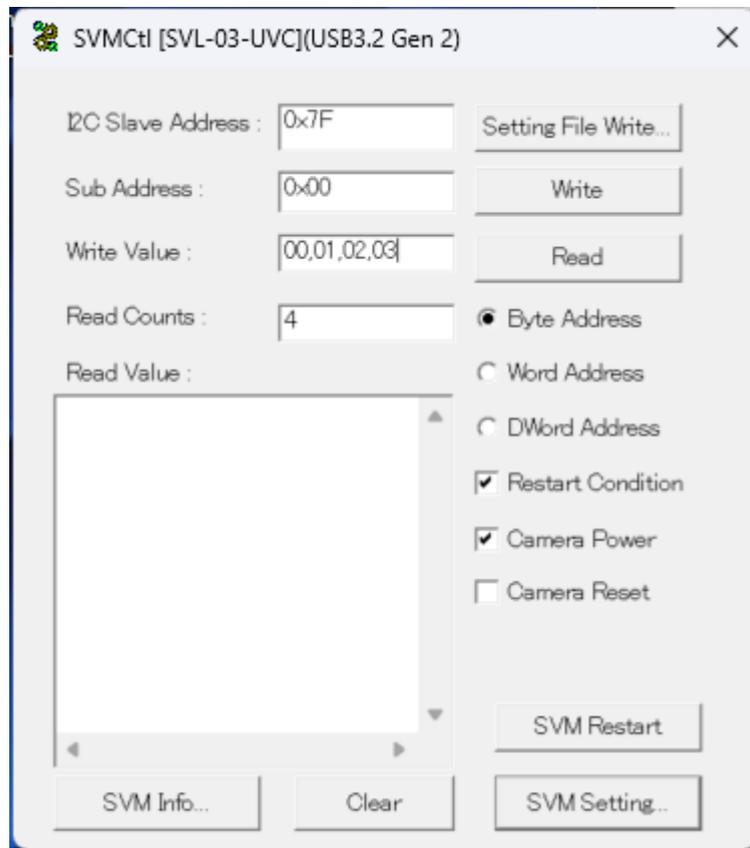
- DIP SW #1 の設定により、USB 3.2 Gen2 / Gen1 接続を選択可能となります。通常は Auto 設定でご利用ください。
- その他の UVC モードの起動方法や設定内容は、SVM-06 と同じになります。

アプリケーションのバージョンについて

次のバージョン以降の SVMCtl/SVMUpdater/NVCap ソフトウェアをご使用ください。これより古い場合、正常にボードを認識しません。最新版ソフトウェアを使用することで、SVM-06と共通のソフトウェアをご使用できます。

- SVMCtl : 1.7.8.1 以降
- SVMUpdater : 1.8.1.0 以降
- NVCap64 : 1.5.5.5 以降
- SVI05API.dll : 1.3.1.2

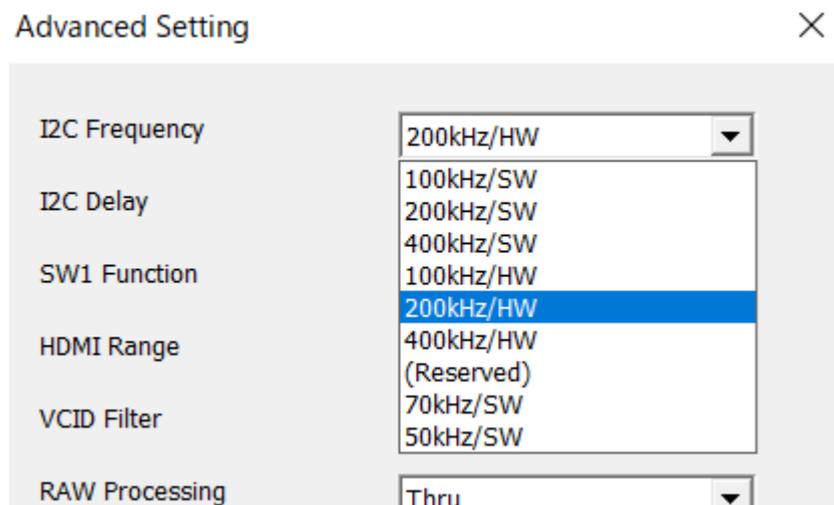
SVMCtl について (起動画面)



USB 3.2 Gen 2 (6Gbps 転送) または
USB 3.2 Gen 1 (3Gbps 転送) の状態が表示されるよう
になります

UVC モードで 4K / 30fps 転送を行う場合、Gen2 設定で PC と接続されている必要があります。接続状態は SVMCtl の起動画面でご確認いただけます。

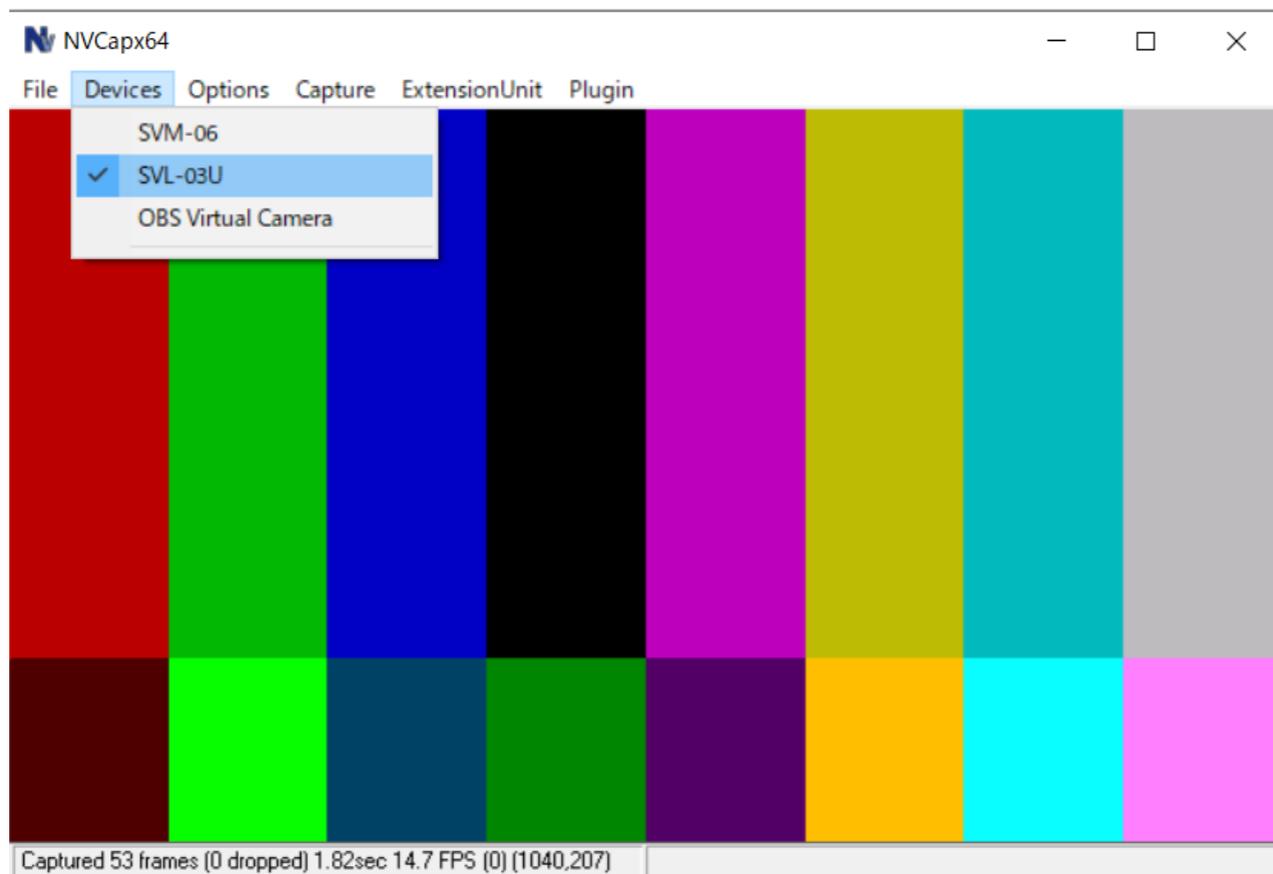
SVMctl について (I2C 設定)



- I2C の機能は、100[kHz] / 200[kHz] / 400[kHz] の SW と HW 設定が使用可能です。
- SW 設定は、SVM-06 と同様に近似値での動作周波数になります。
- HW 設定は、200[kHz] のみ、近似値での動作周波数になります。

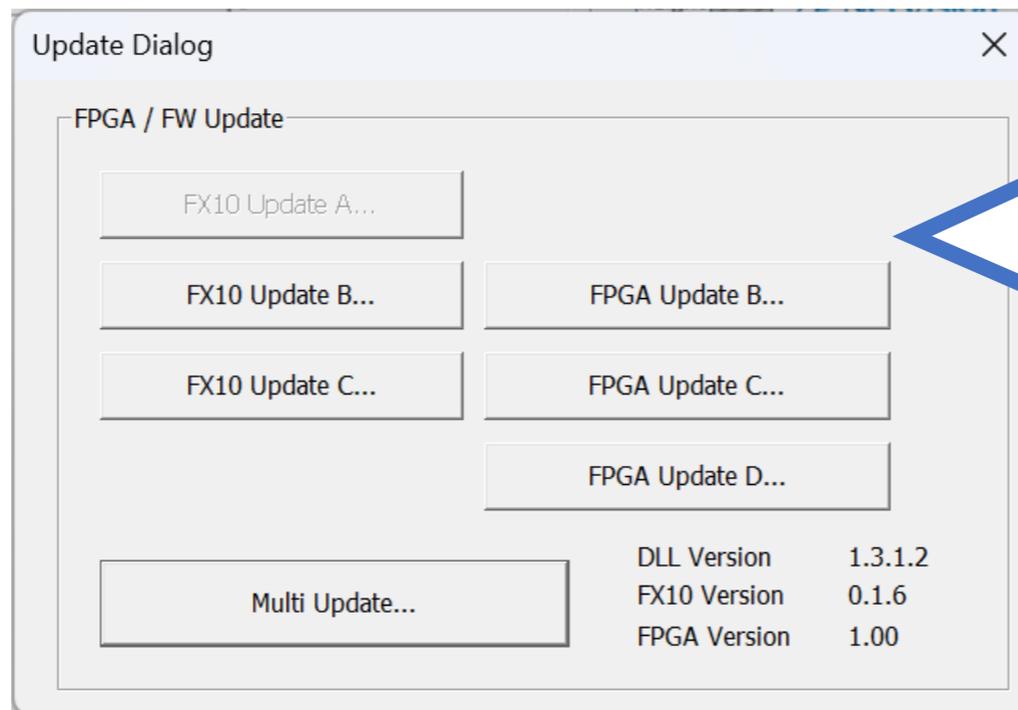
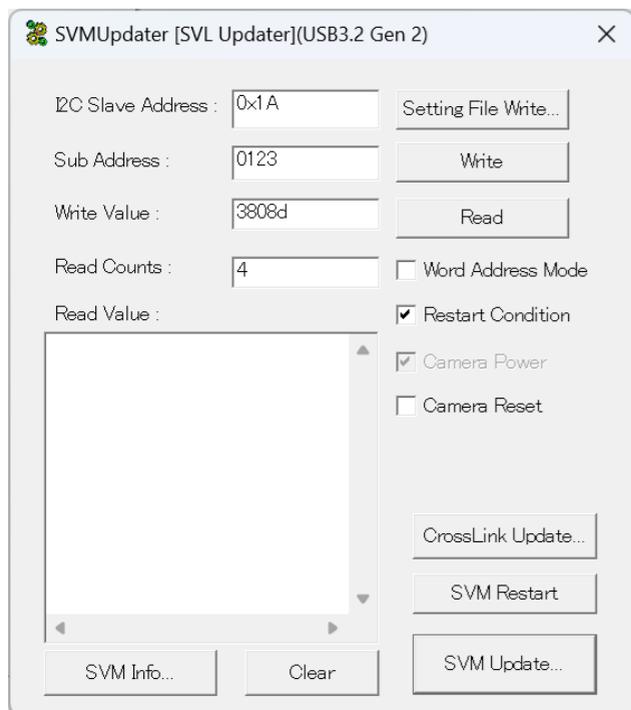
※アプリケーションの詳細は、各種ソフトウェアマニュアルを参照して下さい。

NVCap 上の表示について



- NVCap では SVL-03U として認識されます (Board ID は表示されません)
- Extension Unit の機能はリリース版で対応予定です。

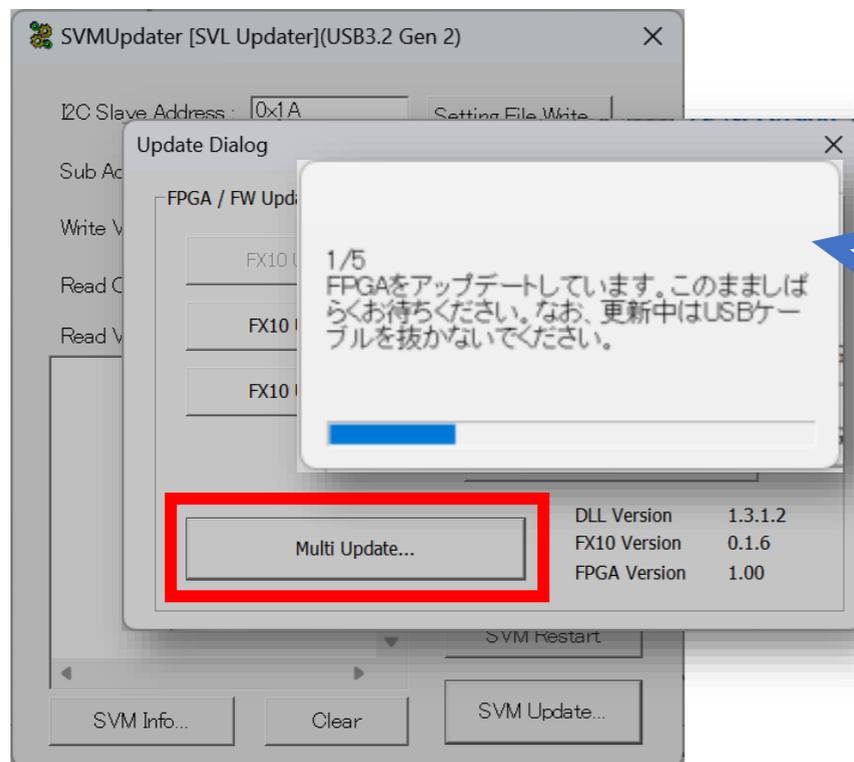
SVMUpdater について -1



ハード構成が異なるため、SVM-06と比較して、アップデートできる項目に一部変更があります。

SVL-03-UVC 用のアップデートファイルをご使用ください

SVMUpdater について -2



SVL-03-UVC では、アップデート中のボード上のLEDアニメーションを廃止しています。それに伴い、Multi Update 実行時のみプログレスバーの表示を行うように変更しました。

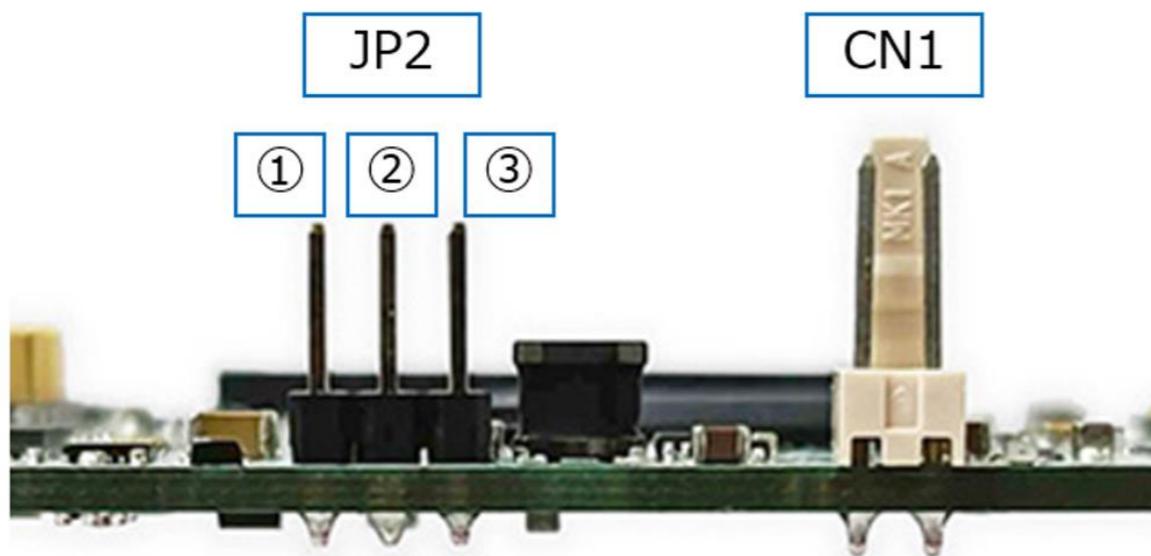
※ 最新SVMUpdaterを使用することで、SVL-03-UVC / SVM-06どちらのボードでもプログレスバー表示が可能です

ハードウェアの違い(一覧)

※詳細は、ハードウェア仕様書を参照して下さい

項目	SVM-06	SVL-03-UVC
映像出力I/F	USB3.2 Gen1 (UVC) Type-B HDMI v1.4	USB3.2 Gen2 (UVC) Type-C DisplayPort v1.1a
動作電流	(UVCモード) +5V 0.8A typ. (HDMIモード) +5V 0.98A typ.	(UVCモード) +5V 0.85A typ. (DPモード) +5V ((T.B.D) typ.
追加コネクタ	-	CN11,12(同期配線用コネクタ) CN13 (出荷検査用コネクタ)
起動時間	電源投入後 約 8 秒	電源投入後 約 4 秒
起動モード	UVC モード HDMI モード アップデータモード	UVCモード DisplayPortモード (T.B.D) アップデータモード
モニタ & UVC 同時出力	可能	不可
追加 JP	-	JP2 (ボード電源選択ジャンパ)
CN1(電源2pin)入力電圧範囲	5V~5.5V	5V~5.5V or 6.5V~16V (JP2 で選択)
USB デバイス・コントローラ	EZ-USB FX3	EZ-USB FX10
UVC 出力スループレート	3.0[Gbps] (Gen1 接続時)	6.0[Gbps] (Gen2 接続時) 3.0[Gbps] (Gen1 接続時)
保護素子	ヒューズ 3.15A	eFuse 6V / 4.8A
周囲温度(動作温度範囲)	0-42°C	0-27°C

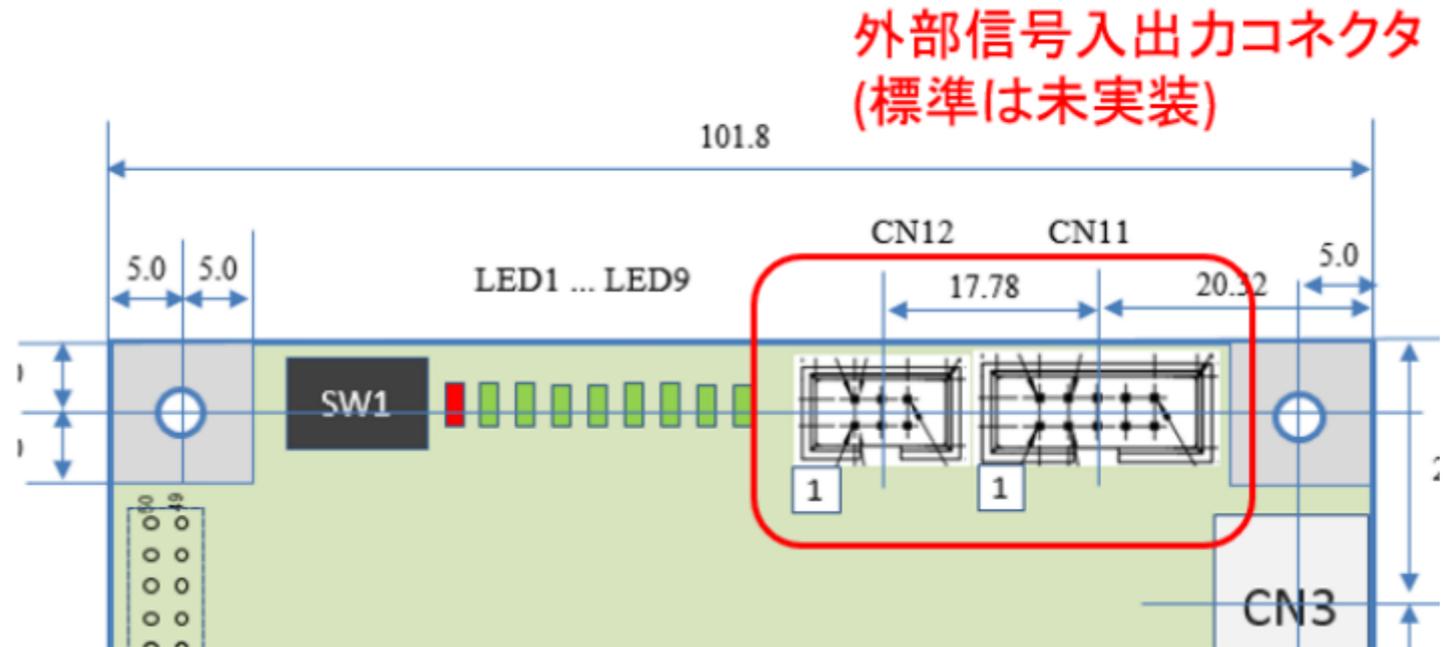
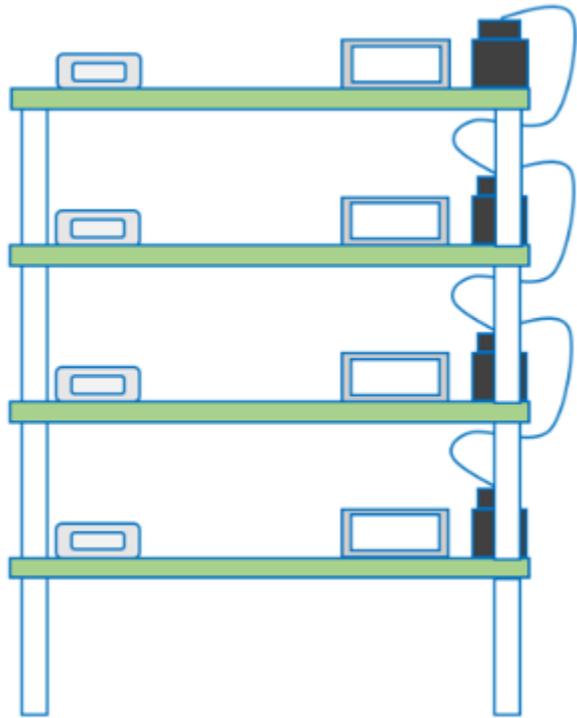
電源供給ピンについて



- ジャンパピン(JP2①)で USB バスパワーを切断できるようになりました。
- CN1 ピンから 5V ~5.5V または、6.5V ~ 16V の電圧が入力できるようになりました。
- 5V~5.5V 供給の場合は、ジャンパピン(JP2③)に差し込みます。
- 6.5V~16V 供給の場合は、ジャンパピン(JP2②)に差し込みます。

※ 詳細は、ハードウェア仕様書を参照して下さい。

同期コネクタについて



外部信号の入出力回路を追加しました。同期用コネクタの実装用です。

※ 同期信号が必要な場合はお問い合わせください。

リリース版までに改善・実装予定の機能

- SVMCtl による SVM Restart でのボード再起動時に、極稀にボードの起動が失敗し、カメラ映像をキャプチャできない場合があります。現象発生時は、ケーブルを抜きボードを再起動してください。
- NVCap 上で Preview Start / Stop を繰り返し行くと、ボードの映像転送が停止する場合があります。現象発生時は、ボードを再起動してください。
- NVCap 等で使用する Extension Unit の機能は、未実装になります。
- NVCap の Device 選択画面で Board ID を割り当てていても ID は表示されません。
- SW1 Function Reset Pin の FPGA ブロックのリセット機能は、未実装になります。
- SVMCtlによる設定変更は、即時反映されませんので、設定変更後は、ボードを再起動してください。

上記の動作や機能に関しては、3月予定の量産までに実装・更新予定です。

改定履歴

版数	日付	内容	担当者
1.0	25-01-09	新規作成	木村
1.1	25-01-20	ハードウェアの違い(一覧) の項目にて、動作温度範囲について記載	木村